

Qlik Sense Desktop

Qlik Sense®

June 2019

Copyright © 1993-2019 QlikTech International AB. All rights reserved.



© 2019 QlikTech International AB. All rights reserved. Qlik®, Qlik Sense®, QlikView®, QlikTech®, Qlik Cloud®, Qlik DataMarket®, Qlik Analytics Platform®, Qlik NPrinting®, Qlik Connectors®, Qlik GeoAnalytics®, Qlik Core®, Associative Difference®, Lead with Data™, Qlik Data Catalyst™, Qlik Associative Big Data Index™ and the QlikTech logos are trademarks of QlikTech International AB that have been registered in one or more countries. Other marks and logos mentioned herein are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

1	本書について	5
2	Qlik Senseのバージョン比較	6
3	Qlik Sense Desktop のインストール	7
3.1	システム要件	7
	オペレーティング システム	7
	プロセッサ	7
	メモリ	7
	ディスク空き容量	7
	.NET Framework	7
	最低画面解像度	7
3.2	対応ブラウザ	8
3.3	Qlik Sense Desktop に含まれるもの	8
	デスクトップ アイテムとスタート メニュー アイテム	8
	Qlik Sense Desktop のインストール場所	8
	サンプル、アプリ、ログ	8
3.4	設定ファイルの入手	9
3.5	Qlik Sense Desktop のインストール	9
	Qlik Sense Desktop の標準インストール	9
	Qlik Sense Desktop のカスタム インストール	9
3.6	Qlik Sense Desktop のアップグレード	10
	アプリの移行	11
3.7	Qlik Sense Desktop ポート	11
3.8	Qlik Sense Desktop ストレージ	11
	既定のストレージ	11
	ポータブル形式	11
3.9	拡張バンドル インストールの修正	12
3.10	Qlik Sense Desktop の修復	12
3.11	Qlik Sense Desktop のアンインストール	13
4	Qlik Sense Desktop の起動	14
4.1	Qlik アカウントを使用してログインする	14
	Qlik アカウントを登録する	14
4.2	Qlik Sense Enterprise サーバーに対して認証する	15
	Qlik Sense Enterprise ハブからクライアント認証リンクを取得する	15
	管理者からクライアント認証リンクを受け取る	15
	管理者からhubs.ini ファイルを受け取る	16
4.3	ログアウト	16
4.4	Web ブラウザで Qlik Sense Desktop を開く	16
5	Qlik Sense Desktop のハブ	18
5.1	A: ツールバー	18
5.2	B: ログイン情報	19
5.3	C: アプリの新規作成	19
5.4	D: 作業	19
5.5	E: メイン領域	19

5.6 F: はじめに	19
6 Qlik Sense Desktop でアプリを開く.....	20
6.1 ハブからアプリを開く.....	20
6.2 ハブ以外からアプリを開く.....	20
7 Qlik Sense Desktop インストールからアプリを移動	21
7.1 最近の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動	21
7.2 以前の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動	21
7.3 別の Qlik Sense プラットフォームにアプリを移動	22
8 Qlik Sense Desktop における分析接続の構成	23
8.1 Qlik オープン ソース SSE リポジトリ	23
8.2 要素の説明	23
9 トラブルシューティング - Qlik Sense Desktop	25
9.1 Qlik Sense Desktop をインストールできません	25
9.2 Qlik Sense Desktop のログ ファイルが見つからない	25
9.3 Qlik Sense Desktop のインストール ログ ファイルが見つかりません	25
9.4 セッションの有効期限切れ	25
9.5 アプリのサムネイルがハブで見つからない	25
9.6 アプリの移動時に画像が見つからない	26
9.7 qvw ファイルをハブにドロップしたのですが、qvw ファイルが見つかりません。また、ハブでアプリを使用できません	26
9.8 アプリを開けない	26
9.9 オブジェクトからデータをエクスポートできない	27

1 本書について

Qlik Sense Desktop が Qlik Sense と異なる部分について理解を図ります。

本書は Qlik Sense のオンラインヘルプをもとに作成されています。オフラインでの情報入手や印刷の便宜を図った簡易版のため、すべての情報が掲載されているわけではありません。

help.qlik.com/sense では、オンラインヘルプ、付加的なガイド、その他多くのリソースをご提供しております。

2 Qlik Senseのバージョン比較

Qlik Sense Desktop と Qlik Sense Enterprise には、相違点がいくつかあります。

- Qlik Sense Desktop はローカルの Windows コンピューター専用で、マルチ スクリーンやタブレット等には対応していません。
- Qlik Sense Desktop でアプリの公開ができないため、ストリームはサポートされていません。
- Qlik Sense Cloud を使用してアプリを共有できます。
- Qlik Sense Desktop ではセキュリティ機能はサポートされていません。
- Qlik Sense Desktop には自動保存機能はありません。ツール バーの [保存] をクリックして手動で作業を保存する必要があります。アプリはスクリプトをリロードする際に、自動的に保存されます。
- アプリの複製は、Qlik Sense Desktop ではサポートされていません。
- Qlik Sense Desktop はオペレーティング システムの言語で実行され、言語を変更することはできません。

3 Qlik Sense Desktop のインストール

このセクションでは、Qlik Sense Desktop をコンピューターにインストールする方法を説明しています。

3.1 システム要件

Qlik Sense Desktop を正常にインストールし作動させるには、このセクションに記載された要件を満たしている必要があります。

オペレーティング システム

- Microsoft Windows 7 (64-bit バージョンのみ)
- Microsoft Windows 8.1 (64-bit バージョンのみ)
- Microsoft Windows 10 (64-bit バージョンのみ)

プロセッサ

- Intel Core 2 Duo 以上を推奨

メモリ

最低 4 GB (データ容量によっては、より多くのメモリが必要となる場合があります。)



Qlik Sense はインメモリ分析技術を使用しています。メモリ要件は、分析されるデータ量に直接関係しています。

ディスク空き容量

- インストールには計 5.0 GB が必要

.NET Framework

- 4.5.2 以降

最低画面解像度

- デスクトップ、ノートPC、タブレット: 1024x768
- 小型画面: 320x568

3.2 対応ブラウザ

対応ブラウザ

オペレーティング システム	Microsoft Edge	Internet Explorer 11 以降	Google Chrome	Mozilla Firefox
Windows 7	-	✓	✓	✓
Windows 8.1	-	✓	✓	✓
Windows 10	✓	✓	✓	✓



既定では *Qlik Sense Desktop* は専用のウィンドウで実行されますが、Web ブラウザーで開くこともできます。

詳細については、「*Qlik Sense Desktop* の起動 (page 14)」を参照してください。



Mozilla Firefox (ハードウェアアクセラレーションが必要、仮想環境には対応していません)。

3.3 Qlik Sense Desktop に含まれるもの

デスクトップ アイテムとスタート メニュー アイテム

Qlik Sense Desktop のインストール完了後、ショートカットをデスクトップと[スタート]メニュー([スタート] > すべてのプログラム)から利用できるようになります。

- *Qlik Sense Desktop* のショートカット
ハブが *Qlik Sense* 実行の開始点になります。ここには作成した *Qlik Sense* アプリがすべて表示されます。

Qlik Sense Desktop のインストール場所

Qlik Sense Desktop のインストールが完了すると、*Qlik Sense Desktop* が `Users\{user}\AppData\Local\Programs\Qlik` にインストールされます。

[**Custom Installation**] (カスタム インストール) オプションでインストール場所を指定することもできます。

サンプル、アプリ、ログ

Qlik Sense Desktop のインストールには、いくつかのサンプル ファイルが含まれています。これらは `Users\{user}\Documents\Qlik\Examples` に保存されています。例えば、拡張コードの例がいくつか *Extensions* サブフォルダーにインストールされています。

Qlik Sense Desktop のインストールには、サンプル アプリも含まれています。これらは `Users\{user}\Documents\Qlik\Sense\Apps` に保存されています。

Qlik Sense Desktop のインストールでは、ログは `Users\{user}\Documents\Qlik\Sense\Log` にあります。

3.4 設定ファイルの入手

`Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` ファイルは、ダウンロードサイトから入手できます。お使いのコンピューターのフォルダーに保存してください。

Qlik Sense Desktop をダウンロードするには、「 [Qlik® Sense Desktop](#) のダウンロード」を参照してください。

3.5 Qlik Sense Desktop のインストール

インストールとストレージの場所がデフォルトのオプションに設定される標準インストールを実行するか、またはカスタムインストールで場所を指定することができます。

Qlik Sense Desktop の標準インストール

次の手順を実行します。

1. `Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` をダブルクリックして、インストールを開始します。
「ようこそ」のダイアログが表示されます。
2. 標準インストールを実行する場合は、**[Install]** をクリックします。
[License agreement] のダイアログが表示されます。
3. 使用許諾契約書を読み、**[I accept the license agreement]** を選択し、**[Next]** をクリックします。



また、ローカルプリンターで使用許諾契約書を印刷することも可能です。

4. **[インストール準備完了]** 画面で、必要に応じて、デスクトップショートカットの作成を選択します。**[インストール]** をクリックします。
5. **[Extension bundles]** (拡張バンドル) セクションで、必要に応じて、拡張バンドルのインストールを選択します。次に、Qlik Sense インストールについて利用可能な拡張バンドルの一覧からインストールしたい拡張バンドルを選択します。
拡張バンドルは、後からいつでも Qlik Sense インストールに対して追加、削除できます。参照先: [拡張バンドル インストールの修正 \(page 12\)](#)。
6. 拡張バンドルをインストールしない場合は、**[インストール]** をクリックします。そうでない場合は、**[次へ]** をクリックします。
7. いずれかの拡張バンドルをインストールする場合は、拡張バンドル使用許諾契約書に同意します。**[インストール]** をクリックします。
8. インストールが完了すると、**[Installation summary]** が表示されます。
[Finish] をクリックして **[Installation summary]** を閉じます。
これで、お使いのコンピューターに Qlik Sense Desktop が正しくインストールされました。

Qlik Sense Desktop のカスタム インストール

次の手順を実行します。

1. `Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` をダブルクリックして、インストールを開始します。
「ようこそ」のダイアログが表示されます。
2. **[Custom Installation]** をクリックします。
[License agreement] のダイアログが表示されます。
3. 使用許諾契約書を読み、**[I accept the license agreement]** チェックボックスを選択し、**[Next]** をクリックします。



また、ローカルプリンターで使用許諾契約書を印刷することも可能です。

4. Qlik Sense Desktop をインストールする場所を入力するか、または参照して、**[Next]** (次へ) をクリックします。



Qlik Sense Desktop は、管理者権限の必要な場所 (例: `C:\Program Files`) にはインストールできません。

5. Qlik Sense Desktop でアプリのコンテンツを保存する場所を入力するか、または参照して、**[Next]** (次へ) をクリックします。
6. **[インストール準備完了]** 画面で、必要に応じて、デスクトップショートカットの作成を選択します。**[インストール]** をクリックします。
7. **[インストール準備完了]** 画面の **[Extension bundles]** (拡張バンドル) セクションで、必要に応じて、デスクトップショートカットの作成を選択します。次に、Qlik Sense インストールについて利用可能な拡張バンドルの一覧からインストールしたい拡張バンドルを選択します。
拡張バンドルは、後からいつでも Qlik Sense インストールに対して追加、削除できます。参照先: *拡張バンドル インストールの修正 (page 12)*。
8. 拡張バンドルをインストールしない場合は、**[インストール]** をクリックします。そうでない場合は、**[次へ]** をクリックします。
9. いずれかの拡張バンドルをインストールする場合は、拡張バンドル使用許諾契約書に同意します。**[インストール]** をクリックします。
10. インストールが完了すると、**[Installation summary]** が表示されます。
[Finish] をクリックして **[Installation summary]** を閉じます。
これで、カスタマイズしたインストールとストレージの場所を使用して、Qlik Sense Desktop がコンピューターに正常にインストールされました。

3.6 Qlik Sense Desktop のアップグレード

アップグレードオプションは、Qlik Sense があらかじめインストールされていて新しいバージョンの `Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` セットアップファイルが実行されたときに使用可能になります。

次の手順を実行します。

1. `Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` をダブルクリックして、インストールを開始します。
「ようこそ」のダイアログが表示されます。
2. **[UPGRADE]** をクリックします。
[License agreement] のダイアログが表示されます。
3. ライセンス使用許諾書を読み、同意する場合は **[I accept the license agreement]** のチェックボックスをオンにし、**[Next]** をクリックします。



また、ローカルプリンターで使用許諾契約書を印刷することも可能です。

- [Ready to install]** のダイアログが表示されます。
4. **[Upgrade]** をクリックすると、インストールが始まります。
インストールが完了すると、**[Installation summary]** が表示されます。
 5. **[Finish]** をクリックして **[Installation summary]** を閉じます。
これで、Qlik Sense Desktop の新しいバージョンに正常にアップグレードされました。

アプリの移行

Qlik Sense Desktop のアップグレード後は、互換性を確保するためにアプリを移行する必要があります。ハブでは、アプリを移行する前にサムネイルが表示されません。

移行は、アップグレード後に最初にアプリを開いたときに自動で行われます。アプリの移行の前には、バックアップコピーが `Users\{user}\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup` に作成されます。アプリを以前のバージョンの Qlik Sense Desktop で開きたい場合は、バックアップコピーを利用できます。

3.7 Qlik Sense Desktop ポート

Qlik Sense Desktop は、既定のポート 4848 を使用します。

3.8 Qlik Sense Desktop ストレージ

このセクションでは、Qlik Sense Desktop の実行中に Qlik Sense アプリが保存される場所について説明します。

既定のストレージ

Qlik Sense では、既定でアプリはローカルファイルシステム (`C:\Users\{user}\Documents\Qlik\Sense`) に保存されます。

ポータブル形式

Qlik Sense のアプリは、ローカルファイルシステムに当社独自の `.qvf` 形式 (ポータブル形式) で保存できます。

単一のアプリは `<AppName>.qvf` として保存されます (`<AppName>` はアプリのタイトルです)。

3.9 拡張バンドル インストールの修正

拡張バンドルは、いつでも Qlik Sense Desktop インストールに対して追加、削除できます。

次の手順を実行します。

1. [コントロール パネル] の [プログラムと機能] を開きます。
 2. プログラムの一覧の中から、修正する拡張バンドルをダブルクリックします。
 3. [Extension Bundle Setup Wizard] (拡張バンドル設定 ウィザード) が開きます。[次へ] をクリックします。
 4. [Change] (変更) を選択します。
 5. [Custom setup] (カスタム設定) 画面でバンドルのアイコンをクリックし、バンドル インストールをどう修正するかを選択します。
 - バンドルがインストールされている場合、[Entire feature will be unavailable] (機能全体が使用できなくなります) を選択してそのバンドルをアンインストールします。
 - バンドルがインストールされていない場合、[Entire feature will be installed on local hard drive] (機能全体をローカル ハードドライブにインストール) を選択し、バンドルをインストールします。
- [次へ] をクリックします。
6. [Change] (変更) をクリックします。
 7. [完了] をクリックし、[Extension Bundle Setup Wizard] (拡張バンドル設定 ウィザード) を終了します。

3.10 Qlik Sense Desktop の修復

Repair オプションを実行すると、欠如しているすべてのファイル、ショートカット、レジストリ値が復元されます。

次の手順を実行します。

1. プログラムの修復を開始するには、[コントロール パネル] を開き、[プログラムのアンインストール] を選択します。次に、プログラム リストから Qlik Sense Desktop を選択して、[変更] をクリックします。
[Qlik Sense Desktop **Setup maintenance**] のダイアログが表示されます。



この操作は、*Qlik_Sense_Desktop_setup.exe* ファイルをダブルクリックして実行することもできます。

2. [REPAIR] をクリックします。
[Ready to repair] のダイアログが表示されます。
3. [Repair] をクリックします。
修復が始まり、進捗状況が表示されます。
4. 修復プロセスが完了すると、[Repair summary] ダイアログが表示され、Qlik Sense Desktop の修復が正常に完了したことが示されます。
5. [Finish] をクリックします。

これで、Qlik Sense Desktop インストールの修復が完了しました。

3.11 Qlik Sense Desktop のアンインストール

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Desktop をアンインストールするには、[コントロール パネル] を開き、[プログラムのアンインストール] を選択します。次に、プログラム リストから Qlik Sense Desktop を選択して、[アンインストール] をクリックします。

Qlik Sense Desktop をコンピューターからアンインストールしてもよいかどうかを尋ねる確認ダイアログが表示されます。



Qlik Sense Desktop のアンインストールは、`Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` ファイルをダブルクリックして、[Maintenance] (メンテナンス) ダイアログで **[Uninstall]** をクリックして実行することも可能です。この場合、Qlik Sense Desktop インストールを変更する際は、設定ファイルの正しいバージョン (Qlik Sense Desktop インストール時に使用したものと同一バージョン) を使用する必要があります。

2. **[Uninstall]** をクリックします。
アンインストールプロセスが開始し、進捗状況が表示されます。
3. アンインストールプロセスが完了すると、**[Uninstall summary]** ダイアログが表示され、Qlik Sense Desktop のアンインストールが正常に完了したことが示されます。
4. **[Finish]** をクリックします。

これで、Qlik Sense Desktop のアンインストールが完了しました。

4 Qlik Sense Desktop の起動

Qlik Sense Desktop は Qlik Sense プログラム グループの [スタート メニュー] から起動します。

Qlik Sense Desktop の使用を開始する前に、Qlik アカウントまたは Qlik Sense Enterprise サーバーに対して自身を認証する必要があります。認証を有効にするには、有効なネットワーク接続が必要です。

一度認証されれば、Qlik Sense Desktop の使用を継続するためにインターネットアクセスは必要ありません。ただし、最後に認証されてから10日 が経過した場合、ログアウトした場合、または管理者によって Qlik Sense Enterprise サーバーに対するユーザー アクセス権が取り消された場合は、自身を再認証する必要があります。SAML 認証を使用している場合にブラウザを閉じると、セッションが終了してクッキーが削除されるので、新しいセッションを開始するには再認証を行う必要があります。



Qlik Sense Desktop は、オペレーティングシステムの言語で実行されます。Web ブラウザで Qlik Sense Desktop を開いて実行しない限り、言語を変更することはできません。

4.1 Qlik アカウントを使用してログインする

既に Qlik アカウントを持っている場合、自身の Qlik アカウント資格情報を使用して Qlik Sense Desktop にログインできます。

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Desktop を起動します。
Qlik Sense Desktop ウェルカム ダイアログが開きます。
2. [Qlik アカウントを使用してログイン] をクリックします。
ログイン ページが開きます。
3. [ユーザー名] と [パスワード] を入力して [ログイン] をクリックします。
認証 され、Qlik Sense Desktop ハブが開きます。

Qlik Sense Desktop が起動するとハブが表示され、ここからあらゆるコンテンツ(アプリ) にアクセスできます。アプリがまだない場合は、アプリの作成を開始できます。

Qlik アカウントを登録する

Qlik アカウントを持っていない場合、Qlik Sense Desktop ウェルカム ダイアログから登録 フォームにアクセスできます。

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Desktop を起動します。
ウェルカム ダイアログが開きます。
2. [登録] をクリックします。
登録 ページが開きます。
3. 個人情報を入力します。
4. 使用条件に同意するためのチェックボックスをオンにします。

5. ロボットでないことを証明するためのチェックボックスをオンにします。
6. **[登録]** をクリックします。
新しい Qlik アカウントのアクティブ化リンクが電子メールで送信されます。
7. 電子メールのアクティブ化リンクをクリックして Qlik アカウントをアクティブ化します。
Qlik アカウントの使用を開始できるようになりました。

これで、Qlik アカウント資格情報を使用して Qlik Sense Desktop にログインできます。

4.2 Qlik Sense Enterprise サーバーに対して認証する

Qlik Sense Enterprise のユーザー アクセスを持っている場合、Qlik Sense Desktop を開始すると Qlik Sense Enterprise サーバーに対して認証を行うことができます。

認証できるようにするには、管理者がまず Qlik Management Console で Qlik Sense Enterprise 認証リンクを生成する必要があります。

Qlik Sense 管理者は、以下の方法のいずれかを使用してリンクを受け取る方法についての情報を提供します。

- Qlik Sense Enterprise ハブからクライアント認証リンクを取得する
- 管理者からクライアント認証リンクを受け取る
- 管理者から、認証リンクが含まれている hubs.ini ファイルを受け取る

以下のいずれかの手順を開始する前に、コンピュータに Qlik Sense Desktop をインストールしておく必要があります。



クライアント認証はテストサーバーでは対応していません。

Qlik Sense Enterprise ハブからクライアント認証リンクを取得する

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Enterprise を起動します。
2. ハブの上部ツールバーで **...** をクリックして、**[クライアント認証]** をクリックします。
3. Qlik Sense を使用して認証リンクを開くことを確認するように求めるメッセージが表示されたダイアログボックスが開きます。ダイアログで確認します。
Qlik Sense Desktop が開き、エンタープライズサーバーの新しい認証ボタンが「ようこそ」ページの **[Qlik Sense Enterprise に対する認証]** に追加されます。
4. 認証ボタンをクリックしてログインします。Qlik Sense Enterprise の資格情報を入力するように求められます。
これで認証され、Qlik Sense Desktop が開きます。

これ以降に Qlik Sense Desktop を起動するときには、認証ボタンをクリックし、Qlik Sense Enterprise の資格情報を使用してログインすることができます。

管理者からクライアント認証リンクを受け取る

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense 管理者から提供された認証リンクをクリックします。
リンクをクリックできない場合は、そのリンクをブラウザにコピーして Return キーを押します。
Google Chrome を使用している場合は、「Google 検索」と表示されていないアドレスバーからリンクオプションを選択する必要があります。



2. Qlik Sense を使用して認証リンクを開くことを確認するように求めるメッセージが表示されたダイアログボックスが開きます。ダイアログで確認します。
Qlik Sense Desktop が開き、「ようこそ」ページの [Qlik Sense Enterprise に対する認証] に認証リンクが追加されます。
3. 認証リンクをクリックします。Qlik Sense Enterprise の資格情報を入力するように求められます。
これで認証され、Qlik Sense Desktop が開きます。

これ以降に Qlik Sense Desktop を起動するときには、認証ボタンをクリックし、Qlik Sense Enterprise の資格情報を使用してログインすることができます。

管理者から hubs.ini ファイルを受け取る

次の手順を実行します。

1. 管理者から提供された hubs.ini ファイルを C:\Users\<ユーザー名>\Documents\Qlik\Sense\Hubs\ にコピーします。
次回に Qlik Sense Desktop を起動したときに、「ようこそ」ページの [Qlik Sense Enterprise に対する認証] に認証リンクが追加されます。
2. 認証リンクをクリックします。Qlik Sense Enterprise の資格情報を入力するように求められます。
これで認証され、Qlik Sense Desktop が開きます。

これ以降に Qlik Sense Desktop を起動するときには、認証ボタンをクリックし、Qlik Sense Enterprise の資格情報を使用してログインすることができます。

4.3 ログアウト

Qlik Sense Desktop からログアウトを選択できます。

次の手順を実行します。

-  をクリックし、ポップアップメニューで  をクリックします。

4.4 Web ブラウザで Qlik Sense Desktop を開く

既定では、Qlik Sense Desktop は専用のウィンドウで実行されますが、Web ブラウザーで開くこともできます。

Web ブラウザーで開く前に、Qlik Sense Desktop を使用してログインをする必要があります。

次の手順を実行します。

1. スタートメニューから Qlik Sense Desktop を起動します。
2. (サポートされている) Web ブラウザを開きます。

3. ブラウザーのアドレスバーに `http://localhost:4848/hub` と入力します。

これで Qlik Sense Desktop が Web ブラウザーに開き、すべてのアプリを含むハブが表示されます。



これで Qlik Sense Desktop の言語を変更できます。

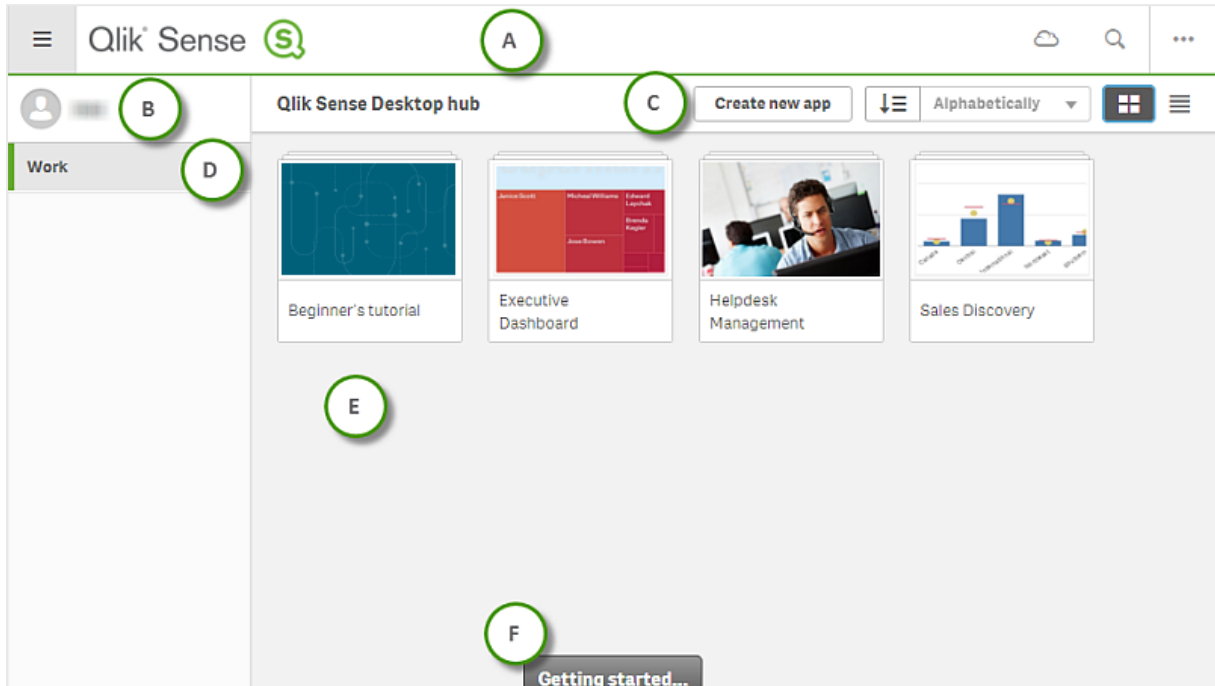


Microsoft Internet Explorer の使用時にハブでアイコンが正しく表示されない場合は、Microsoft Internet Explorer の [インターネット オプション] で設定を変更します。[信頼済みサイト] でハブの Web サイトアドレスを追加します。

5 Qlik Sense Desktop のハブ

Qlik Sense Desktop を開くと、ハブが表示されます。ハブには、すべてのアプリが表示されます。ハブでアプリをクリックし、別のタブで開きます。

Work view (作業表示) が開いている Qlik Sense Desktop ハブ。



5.1 A: ツールバー


ツールバーには、グローバルメニューと他の便利なコマンドが含まれています。

ツールバーのオプション

UI 項目	説明
☰	ナビゲーションメニューのトグルオン、トグルオフを行います。
☁	Qlik Sense Cloud に移動します。
🔍	特定のアプリをすくりに検索できます。
⋮	Dev Hub 、 [ヘルプ] 、および [詳細] オプションのあるグローバルメニュー。 [クライアント認証] リンクをクリックすると、Qlik Sense Desktop の使用を有効化できます。



5.2 B: ログイン情報

ログイン情報のオプション

UI 項目	説明
	ログイン情報はログイン時に表示されます。Qlik Sense システムの設定方法によっては、[ログイン] ボタンをクリックしてログインしなければならない場合があります。 ログインしたら、をクリックし、  ポップアップ メニューで  をクリックして [プロフィール] を開き、[ユーザー ID] および [ユーザー ディレクトリ] の情報を表示できます。
ログアウト	をクリックして、  ポップアップ メニューで  をクリックしてログアウトします。

5.3 C: アプリの新規作成

アプリのオプション

UI 項目	説明
アプリの新規作成	新しいアプリを作成します。このボタンは、アプリ作成の権限がある場合のみ利用できます。
	アルファベット順、作成日別、または公開日別に、アプリを昇順または降順に並べ替えることができます。
	好みに応じて、ハブのグリッドビューとリストビューを切り替えます。

5.4 D: 作業

[作業] にあるすべての独自アプリが含まれる [個人用]。

5.5 E: メイン領域

メイン領域にすべてのアプリが表示されます。

5.6 F: はじめに

Qlik Sense Desktop.での作業を開始する方法の詳細については、Qlik Sense Desktop Web ページを参照してください。

6 Qlik Sense Desktop でアプリを開く

Qlik Sense Desktop を使用すると、ハブまたはファイルの保存場所からアプリを開くことができます。

6.1 ハブからアプリを開く

アプリをクリックすると、ハブからアプリが開きます。

6.2 ハブ以外からアプリを開く

Qlik Sense Desktop では、ハブにないアプリを開くことができます。それには 2 つの方法があります。

- アプリが保存されているディレクトリを開き、アプリをハブにドラッグします。
- **Ctrl+C** を使用してアプリをコピーしてから、**Ctrl+O** を使用してハブで開くこともできます。



アプリをハブ コンテンツの一部に加えたい場合は、アプリファイル (拡張機能 .qvf が付属) をアプリディレクトリ (通常は <user>\Documents\Qlik\Sense\Apps) に移動できます。

7 Qlik Sense Desktop インストールからアプリを移動

Qlik Sense Desktop で作成したアプリを保存するときに、アプリに含まれている画像がアプリの残りのコンテンツとバンドルされます。そのため、アプリを簡単に別のユーザーと共有したり別のコンピューターに移動したりすることができます。

Qlik Sense Desktop で作成した画像を含むアプリを、Qlik Sense Desktop が搭載されている別のコンピューターに移動できます。たとえば、アプリを電子メールで送信できます。

7.1 最近の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動

アプリが最近の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されている場合、そのアプリの画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒に自動的にバンドルされます。

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Desktop を使用してアプリを作成します。
2. アプリを保存します。
3. ハードドライブにアプリを置きます。既定の場所は <ユーザー>\Documents\Qlik\Sense\Apps です。
4. ポータブル デバイスなどにアプリをコピーします。
5. このアプリを Qlik Sense Desktop が搭載されている別のコンピューターの Apps フォルダに貼り付けます。

これで、アプリがハブから使用できるようになりました。

7.2 以前の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動

アプリが以前のバージョンの Qlik Sense Desktop (バージョン 2.0 より前) で作成されていた場合、そのアプリの画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒にバンドルされません。アプリ移動の前に、アプリを起動して保存する必要があります。

次の手順を実行します。

1. 新しいバージョンの Qlik Sense Desktop を使用してアプリを開きます。
2. アプリに変更を行います。
3. アプリを保存します。
これで、アプリに含まれている画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒にバンドルされます。
4. ハードドライブにアプリを置きます。既定の場所は <ユーザー>\Documents\Qlik\Sense\Apps です。
5. ポータブル デバイスなどにアプリをコピーします。
6. このアプリを Qlik Sense Desktop が搭載されている別のコンピューターの Apps フォルダに貼り付けます。

これで、アプリがハブから使用できるようになりました。

7.3 別の Qlik Sense プラットフォームにアプリを移動

Qlik Sense Desktop で作成したアプリを、Qlik Sense Enterprise など別の Qlik Sense 環境に移動できます。アプリを移動するには、アプリをコンピューターにコピーしてから、選択した Qlik Sense 環境にアップロードする必要があります。

アプリはハブから使用可能になります。



Qlik Sense Desktop アプリを Qlik Sense 環境に移動する場合は、画像を個別に処理する必要があります。Qlik Sense を使用して作成されたアプリを移動する場合も同様です。

8 Qlik Sense Desktop における分析接続の構成

分析接続を使用すると、外部分析をビジネスディスカバリと統合することができます。分析接続は、外部計算エンジンの呼び出し(このとき外部計算エンジンはサーバーサイド拡張 (SSE) として動作)によって、ロードスクリプトおよびチャートで使用可能な数式を拡張します。たとえば、R への分析接続を作成し、データのロード時に統計数式を使用できます。

Qlik Sense Desktop の場合、*Settings.ini* ファイルで構成を実行する必要があります。

次の手順を実行します。

1. *Settings.ini* ファイルを開きます。
Qlik Sense Desktop の場合、*C:/Users/<ユーザーID>/Documents/Qlik/Sense/* または *C:/Users/AppData/Local/Programs/Qlik/Sense/Engine* にあります。
Qlik Sense の場合、次の場所にあります。*C:/ProgramData/Qlik/Sense/Engine/*
2. 次の構成を追加します(最後に空の行を挿入します)。
[Settings 7]
SSEPlugin=<PluginConfig>[;<PluginConfig>...]

ここで、<PluginConfig> は次を含む構成要素のコンマ区切りのリストです。

<EngineName>,<Address>[,<PathToCertFile>,<RequestTimeout>,<ReconnectTimeout>]



新しい接続を追加するか、または既存の接続を変更したら、変更内容を有効にするために Qlik Sense Desktop を再起動する必要があります。



サーバー側の拡張 (SSE) プラグインサーバーが稼働している状態で Qlik Sense を起動する必要があります。そうしない場合、接続は確立されません。

8.1 Qlik オープン ソース SSE リポジトリ

次の 2 つの Qlik SSE リポジトリはオープンソースです。

- <https://github.com/qlik-oss/server-side-extension>
SSE プロトコル、一般的なマニュアル、Python および C++ で書かれた例が含まれます。
- <https://github.com/qlik-oss/sse-r-plugin>
C# で書かれた R プラグイン(ソースコードのみ)が含まれます。使用できる状態にするには、プラグインを作成する必要があります。

8.2 要素の説明

<EngineName>: プラグイン関数(例えば、Python プラグインの場合の *SSEPython*)により、アプリの数式内から使用されるプラグインへのマッピング/エイリアス。

<Address>: 2 つの要素から構成されるコロン区切りのリスト。

8 Qlik Sense Desktop における分析接続の構成

- <Host>: プラグインの DNS 名 (または IP アドレス)。
- <Port>: プラグインの待ち受けポート (通常は 50051)。

<PathToCertFile>: プラグインとのセキュアな通信に必要なクライアント証明書を含むフォルダーへのファイルシステムパス。オプション。省略されている場合は、セキュアでない通信が呼び出されます。このパスは、証明書が配置されているフォルダーを指し示しているだけです。証明書が実際にこのフォルダーにコピーされていることを確認する必要があります。3つの証明書の名前は、*root_cert.pem*、*sse_client_cert.pem*、*sse_client_key.pem* とする必要があります。許可されているのは相互認証のみです (サーバーとクライアント間の認証)。

<RequestTimeout>: 整数値 (秒)。オプション。既定値は 0 (無期限) です。メッセージ経過時間のタイムアウト。

<ReconnectTimeout>: 整数値 (秒)。オプション。既定値は 20 (秒) です。クライアントが、プラグインへの接続が失われたから再接続を試みるまでの時間。

Examples:

- 1つの SSE プラグイン サーバーの定義例: `SSEPlugin=SSEPython,localhost:50051`
- 2つの SSE プラグイン サーバーの定義例: `SSEPlugin=SSEPython,localhost:50051;R,localhost:50053`
- 証明書のパスは存在しないものの、タイムアウトは設定されている1つの SSE プラグインサーバーの定義例: `SSEPlugin=SSEPython,localhost:50051,,0,20`

9 トラブルシューティング - Qlik Sense Desktop

このセクションでは、Qlik Sense Desktop 特有の問題について説明します。

9.1 Qlik Sense Desktop をインストールできません

Possible cause

システム要件を満たしていないか、インストールに必要なローカル管理者権限がありません。

9.2 Qlik Sense Desktop のログ ファイルが見つからない

Qlik Sense Desktop のログ ファイルの場所は、アプリケーションをインストールした場所により異なります。

既定の場所は <user>\Documents\Qlik\Sense\Log です。

9.3 Qlik Sense Desktop のインストール ログ ファイルが見つかりません

インストール中に [キャンセル] をクリックするか、インストールが正常に完了しなかった場合、環境変数 %temp% を使用してアクセスできる [temp] フォルダにあるインストール ログで詳細を確認できます。

9.4 セッションの有効期限切れ

Qlik Sense Desktop を使用していて、自分の Qlik Sense Enterprise サーバーの資格情報でログインしました。[セッションが期限切れです] というエラー メッセージを受け取り、再度ログインできなくなりました。

Possible cause

Qlik Sense Enterprise サーバーのユーザー アクセス権またはプロフェッショナル アクセス権がありません。

Proposed action

管理者にユーザー アクセス権またはプロフェッショナル アクセス権を割り当てるように依頼してください。

9.5 アプリのサムネイルがハブで見つからない

Possible cause

Qlik Sense Desktop が新しいバージョンにアップグレードされました。ハブでは、アプリを移行する前にサムネイルが表示されません。

Proposed action

アプリケーションを開きます。移行は、アップグレード後に最初にアプリを開いたときに自動で行われます。

9.6 アプリの移動時に画像が見つからない

Possible cause

Qlik Sense Desktop を新しいバージョンにアップグレードし、移動するアプリがバージョン 2.0 より前の Qlik Sense Desktop 環境で作成されていた場合、

Proposed action

アプリを他のコンピュータに移動する前に、新しいバージョンの Qlik Sense Desktop でアプリを開き、変更を行ってアプリを保存します。

これで、アプリに含まれている画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒にバンドルされます。

9.7 qvw ファイルをハブにドロップしたのですが、qvw ファイルが見つかりません。また、ハブでアプリを使用できません

Possible cause

Qlik Sense アプリとして開くために、フォルダから QlikView ドキュメント (qvw ファイル) をドラッグし Qlik Sense Desktop ハブにドロップしました。

アプリを変更して、そのアプリを保存すると、次の問題が発生します。

- アプリは、QlikView ドキュメント (qvw ファイル) が保存されているフォルダに Qlik Sense 形式 (qvf ファイル) で保存されます。
- また、QlikView ドキュメントのファイル (qvw) がフォルダから削除され、`<user>\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup` に保存されているバックアップ ファイル (qvw.backup) に自動的に変換されます。

Proposed action

バックアップ ファイルを開く必要がある場合は、`<user>\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup` でバックアップ ファイルを探します。

Qlik Sense アプリ (qvf ファイル) の保存場所を `<user>\Documents\Qlik\Sense\Apps` とは別のフォルダにする場合は、ハブから使用できるように、`Apps` フォルダにアプリを移動します。

9.8 アプリを開けない

アプリを開こうとすると、次のエラーメッセージが表示されます: [オブジェクトを保存できませんでした]。

Possible cause

アプリのバックアップの合計のパスの長さが、260 文字という上限を超えています。

合計のパスには、バックアップ ライブラリや製品バージョン、バックアップ日のタイムスタンプ、アプリ名が含まれます: `<ユーザー>\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup\<アプリ名>`

Proposed action

qvf ファイルの名前を変更し、パスの長さを短くします。これでアプリを開けるようになります。

9.9 オブジェクトからデータをエクスポートできない

Qlik Sense Desktop を使用してオブジェクトからデータをエクスポートしようとする、次のエラーメッセージが表示されます: [オブジェクトを保存できませんでした]。

Possible cause

オブジェクトのタイトルが長すぎます。タイトルの長さは、最大 174 文字です。

Proposed action

タイトルを短くしてください。これでデータをエクスポートできるようになります。